

特別号	 <b>一本の樹</b> 校訓 <span style="color: red;">しなやかに すこやかに</span>	令和6年2月9日 上尾市立西中学校 校長 宮田 純生
-----	---	----------------------------------

令和5年度の上尾市立西中学校の学校評価結果についてお知らせいたします。この結果を基に、次年度の教育活動の改善を図ってまいりますので、今後も本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

### 【表の見方】

◎ 「自己評価」は、西中学校職員によるの学校評価です。個人が各項目を個人評価基準（a、b、c、d）に基づき評価し、点数化して総合評価をA、B、C、Dの4段階で評価しています。

○ 個人評価基準	a (4点) …8割以上の達成状況、かなり高いレベルでできている。 b (3点) …5割以上8割未満の達成状況、概ね基準に達している。 c (2点) …2割以上5割未満の達成状況、基準には達していない。bとdの間の評価。 d (1点) …2割未満の達成状況、ほとんどできていない。
○ 総合評価基準	平均を基に A 3.4以上 B 2.6以上 C 2.0以上 D 2.0未満 A (かなり高いレベルでできている。)、 B (概ね基準に達している。) C (基準に達していない、BとDの間の評価)、 D (ほとんどできていない。)

◎ 「学校関係者評価」は、学校運営協議会委員7名による評価です。

## 1 「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価委員の御意見
1	学校は、学校教育目標達成に向けて、学校経営方針に基づき、組織的に特色ある学校づくりに取り組んでいる。	B	・学校教育目標達成に向けて、学校経営方針に基づき、教職員は能動的に活動することができた。 ・「凡事徹底」「学力向上」「生徒活動」「連携教育」を提唱し、学校・家庭・地域が一体となり、教育活動を推進していく。	A	○教員の働き方改革が必要な中、校長が先頭に立って工夫し指導指示していることが伝わってくる。部活動の地域への移行をすすめていくことで、教員の負担を軽くし、本来の授業の業務利欲をあげてほしい。
2	学校は、学校経営方針に基づき、学年・学級経営、教科経営や校務分掌にあたっている。	B	・運営委員会を毎週開催し、運営委員会が組織の核となって教育活動にあたることができた。 ・学年主任、校務分掌主任がリーダーシップをとり、組織を機能させている。主任に偏りがちの分担を改善し、さらに働き方改革を進めていく。	A	
3	学校は、常に事故防止に努めるとともに、事故やトラブルに対して迅速に対応している。	A	・学校事故の未然防止に努めるとともに、生徒のケガやトラブルの発生時には、学年を問わずどの教員も組織的に素早く対応することができた。 ・毎月安全点検を実施、校内における危険箇所の早期発見とその対策を図ることができた。	A	
4	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、教育の場にかわいしい環境美化に取り組んでいる。	B	・学校行事の様子等、教室や廊下の掲示を随時更新することができた。 ・環境委員会を中心に、全ての清掃場所で全校統一の清掃点検表を活用し、環境美化の推進に努めた。簡単清掃の取組を見直し、環境美化をさらに進めていく。	B	
5	校内での職務を通して教師力の向上と相互の学びがある職場である。	B	・GIGAスクール構想におけるタブレット端末を活用した教育活動を実施するため、学校全体の校内研修等、学び合うことができた。 ・学校行事や学年の取組を通し、生徒に達成感を味わわせることができた。職務を通してベテラン教員の経験値と若手教員の機動力を調和させていく。	B	

## 2 「基礎学力の徹底」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価委員の御意見
6	学校は、生徒が落ち着いた中で学習できる環境整備に努めている。	A	・学習規律（チャイム前着席、聞く態度等）を確立し、落ち着いた学習環境を整えることができた。今後も継続して指導していく。	A	○授業県学した限りでは、落ち着いた環境を整えていると感じた。デジタル機器もよく活用し、発言発表を引き出して授業が展開されていると感じた。
7	学校は、各教科で基礎的な知識・技能を習得させるために努力している。	A	・学力調査では、本校生徒の学力レベルは引き続き高く、また、個々の生徒の学力を大きく伸ばすことができています。 ・学力格差がみられるため、個別最適な学びをより一層充実させ、補習授業の実施や家庭学習の定着を図る。	A	
8	学校は、各教科の指導において、言語活動を重視した授業を展開し、生徒の言語活用能力を高めている。	B	・ペアワークやグループワーク等「主体的・対話的で深い学び」の学習指導の工夫・充実を図っている。 ・学習課題や発問を工夫し、生徒の思考力・判断力・表現力を伸ばす授業を研究し、実践していく。	B	
9	学校は、学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	B	・チャイム前着席、話を聞く態度など、授業と休み時間のメリハリ、授業規律を確立することができた。 ・学年を超えて情報共有・共通理解を図り、今後も指導を継続していく。	B	
10	学校は、生徒が社会的・職業的自立ができるよう進路指導・キャリア教育を推進している。	B	・1年「職業調べ」、2年「上級学校調べ」、「3年生に学ぶ会」3年進路選択に向けた「夢の実現のために必要なこと」と系統的に進路指導・キャリア教育を推進することができた。	B	

### 3 「規律ある態度」の育成

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価委員の御意見
11	学校は、生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう指導し、成果を上げている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のあいさつや来校者へのあいさつなど教職員が手本となり、積極的にあいさつをする指導を行う。</li> <li>委員会を通して、授業のあいさつキャンペーンなど実施した。取組を継続し、子どもたちの活動の中からあいさつが活発にできるようにしていく。</li> </ul>	B	<p>○生徒の挨拶に関しては、さらに指導をすすめてほしい。</p> <p>○いじめや不登校が〇にならないのは、やむを得ない。〇に近づけるための教職員の努力は十分評価できる。</p>
12	学校は、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導し、成果を上げている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語活動を充実させ、自分の考えを発表する場面など機会を捉えて、言葉遣いについて指導する。</li> <li>教職員から手本を示すと共に、正しいスキルを習得させるなどの、粘り強い指導を継続していく。</li> </ul>	B	
13	学校は、生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるよう指導している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月学校生活アンケートを実施し、生徒指導部会等の情報を教職員で共有し、一貫した対応をすることができた。</li> <li>生徒はいじめはよくないと理解しているが、相手を傷つける言葉を発してしまいトラブルになることがあった。いじめの早期発見に努め、問題解決には組織で対応していく。</li> </ul>	B	
14	学校は、教職員自ら手本となるなど、生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の丁寧な言葉遣いなど、言語環境が生徒の規範意識に関わることを意識し、マナーアップを心がけていく。</li> <li>倫理確立委員会や校内研修により、規範意識を向上させ、「不祥事ゼロ」を継続していく。</li> </ul>	A	

### 4 「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価委員の御意見
15	学校は、体力向上に向け、体育や部活動・学校行事などにおいて意欲的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育科や体育委員会が工夫して、体力向上に向けて計画的に取り組んだ。</li> <li>部活動では、短時間で効率よく自発的な活動ができるよう努めた。</li> </ul>	A	<p>○見る限りでは、よく運動しているし、体育祭を見てもなかなか好ましい行事運営がなされていると感じる。</p>
16	学校は、生徒の健康の保持増進のための安全指導・安全管理に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健委員会を中心に、コロナ感染症や熱中症、ケガの予防等の呼びかけを行い、生徒の健康の保持・増進の意識を高めることができた。</li> <li>薬物乱用防止教室を行い、健康について理解を深めることができた。</li> </ul>	A	

### 5 「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価委員の御意見
17	学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者・地域と連携協力している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月PTA除草作業、11月学校公開週間、12月ぐるっとくん地域めぐり作戦の実施により、多くの保護者が来校したり、生徒が地域の方と交流したりすることができた。</li> <li>今後もPTAや地域と連携していけるような方法を工夫し考えていく。</li> </ul>	B	<p>○保護者地域との連携協力では、大変お世話になっている。家の前を通り通学している生徒も挨拶をしている。</p> <p>○自治会から夏祭りなどにボランティアを依頼すると、何人もの生徒が応じてくれる。活躍ぶりもよい。将来、この生徒が地域の自治会活動に理解を示し、役員になることをいとわない大人が育ってくれるものと期待する。</p>
18	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について定期的に情報提供している。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だより、学年だより、学級だよりなど、定期的に発行し、情報発信することができた。紙面に生徒の声や保護者からの声を掲載するなど工夫を凝らしている。</li> <li>メール配信や学校ホームページでは、お知らせや新しい情報を発信することができた。ホームページの更新により、さらに情報を発信していく。</li> </ul>	A	
19	学校は、保護者や地域と連携し不審者対策のパトロールや声かけ運動などを計画を立てて定期的に実施している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度も、長期休業中のPTA合同パトロールは実施できず、教職員だけでパトロールを実施した。</li> <li>不審者情報が入った時は生徒指導部を中心にパトロールを強化した。</li> <li>あいさつ運動や定期テスト前の部活動停止期間等、登下校指導やパトロールを実施した。</li> </ul>	B	